

白布ヶ丘だより

3月

…学校と家庭・地域の架け橋…

発行 栃木県立真岡高等学校

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

ご卒業おめでとうございます

3月1日(木)、平成29年度卒業式が挙行されました。全日制は197名、定時制は10名が卒業し、本校の卒業生総数は25,608名となりました。

卒業式に先立ち、2月28日(水)に、学校長賞、学業賞、特別活動賞、皆勤および精勤者への精励賞等の表彰式が行われました。



<表彰式で富山英幸PTA会長より授与>

また、文武両道奨励賞の受賞者15名が富山英幸PTA会長より表彰されました。PTA会長から「受賞者の皆さんは文武両道に励まれ、大変尊敬します。この賞を誇りに思い、さらに精進されることを期待しています。また、在校生は文武両道を目指してほしい。己に強くなり、皆さん頑張りましょう。」とのお言葉を頂きました。



<同窓会入会式で 小口君による入会の誓い>

表彰式の後、同窓会入会式が行われました。小口陽平君による入会の誓いを受け、佐藤務同窓会会長より今年度の卒業予定者207名の入会認定をいただき、同窓会の紹介や歓迎の言葉、さらには「卒業生は各分野で活躍している。皆

さんも『温故知新』を大切にして、自分づくりに努めてほしい。」といった餞の言葉を頂きました。

3学年担任より卒業生へ

第3学年主任 3年1組 担任 千葉 哲也

3年生諸君、いよいよ卒業の日を迎える時が来ましたね。おめでとう。ここ白布ヶ丘で過ごした日々は、かけがえのない大切な時間として各人の心に深く刻まれていることと思います。

3年前に、これから始まる新たな生活に大いに期待を巡らせてこの門をくぐった諸君も、決して順風満帆にここまで過ごせたわけではないでしょう。当初は誰もが志高くして日々努力し、自己実現を果たしていくことを夢見て前向きに過ごそうとしてきたはずですが、日々の試練はその強き心を挫こうとするものです。何度も挫折を味わい、自己の弱さを痛感して打ちのめされながら、それでも、人は自己の成長を信じて立ち上がり続ける存在です。偉大な先人たちは、様々な言動でそれを実証してきました。ここ白布ヶ丘でも、創立当初より、数多の先輩たちが文武両道を掲げて日々自己の目標実現に向けた地道な努力を続けてきました。そして、諸君も、その歴史のページを綴るべく、素晴らしき日々を過ごしてきたのです。周りの友に目を向ければ、それぞれの部活動で精一杯取り組み、全国の舞台で力を発揮してくれた仲間や、目標にしていた好成绩を残した仲間も多くいます。学校行事や生徒会活動などの特別活動においても、強い探究心と好奇心で、完成度の高さを極めた活動へと向かい、個々人が納得のいく取り組みを見せてくれました。また、学習にも真摯な態度で向き合い、自身の成長を信じて日々努力し続け、確かな学力を身につけてきた友もたくさんいます。こうした充実した日々を過ごすことができたのも、諸君の成長を信じて支え続けてくれた家族の力があったからこそです。その感謝の気持ちを、いつまでも深く胸に刻んでいて欲しいと思います。

ここ白布ヶ丘で出会えた言葉に、「至誠」の二文字があります。本校の基本精神である「至誠」は、自他共に向き合うべき姿勢を示しています。これからの人生の中での新たなステージにおいても、幾多の試練に出会い、苦悩し続ける日々を迎える時が来ることでしょう。そのような時、様々な外的要因に惑わされることなく、本校卒業生としての矜持を胸に、常に「至誠」の精神で自己の信念を貫き通して誠実に生き抜いてほしいと願っています。これからが、まさに諸君の、この三年間の日々の真価が問われる時です。新たなステージでも、さらに自己研鑽

に励み、新しき光を添え続けていける人であって下さい。

3年2組 担任 阿部 剛

卒業おめでとう。卒業生に贈る言葉、特別なことはない。

2015年4月7日（入学式の日）に発行した、当時の1年3組の学級通信に次のように記した。（一部抜粋）

◆井の中の蛙になるな◆全方位に高くアンテナを伸ばせ◆本を読み◆自ら動け◆頭を使え◆汗をかけ◆本気になれるもの・一生取り組めるものを探せ◆高校生は大きな子どもではなくて小さな大人、言動には責任が伴う◆やるべきことをやれ、やってはいけないことはやってはいけない◆出会いを大切に

今も伝えたいことは同じである。「これまでよりこれから」

3年3組 担任 鈴木 勝博

社会状況を見ると、様々な分野で大きな変化が起きています。教育分野では、センター試験を廃止し新テストが実施され受験生の思考力が問われるようになります。産業分野では、自動運転の自動車の開発と実用、AIの目覚ましい発展により無人のコンビニなど、科学技術の日進月歩に驚かされる毎日です。

そのような中、真岡高校を卒業し大学等に進学する生徒の皆さんが羨ましく感じます。それは、そのような大きな変革を迎える世界の中で、自分も勉強したいという気持ちがあるからです。新しいことや知らないことを学習することは難しく辛く感じるかもしれません。しかし、理解できたときはそれ以上の喜びと達成感を得られることを自分は知っています。皆さんにもそのような体験をして、難しいことへチャレンジできる気持ちを持てるようになって欲しいと願っています。

最後になりますが、卒業する皆さんに一言。「努力（勉強）は人生における最大の先行投資です。これまでの経験をこれからの経験をぜひ今後の人生にプラスに生かしてください。」

卒業おめでとう。そしてありがとう。楽しくも充実した3年間でした。

3年4組 担任 磯貝 厚

卒業おめでとう

まずは3年生諸君には感謝の気持ちでいっぱいである。「災いは忘れた頃にやってくる」とおり、まさか自分が病気になるとは思いもよらなかった。大切な3年生の最後の追い込み時期に、苦楽をともにすることができなかったことが、悔しく、そして申し訳なくてならない。そんな中で、飯塚先生の下、クラス全員が目標に向かって力強く成長してくれたこと、病室でクラスの様子を聞くたびに再びみんなの前に立つことへの希望が、約半年に及ぶ闘病・リハビリ生活の原動力となったことは間違いない。改めて感謝したい。

今、君たちには前途洋々たる未来が開かれていている。私自身も、高校時代を思い返すと、新

たな世界に飛び込む高揚感に包まれていたことが甦る。しかし、人間は誰も先のことはわからない。この先、どんな未来が君たちを待っているかは誰にもわからない。だからこそ、今の時にしかできない事に全力を尽くすことが大切さなのだ。今の自分だからこそ切実に感じる事ができる。卒業生諸君のこれからの活躍に期待したい。

そして、3年間ありがとう。

3年5組 担任 上野 弘

母校に赴任して2年目、3年5組の担任として過ごしたこの1年は、言葉では言い表せないほど濃密な時間だった。卒業おめでとう！これから君たちは、自分の言動がより責任を持つことを知り、さらに成長していくだろう。生徒会誌で全文を紹介できなかった詩を、ここで改めて贈りたい。

「自分の感受性くらい」

ばさばさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを
近親のせいにはするな
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもが ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ

（茨木のり子）

3月の行事予定

3日（土）	土曜開放
6日（火）	午前中授業①②⑤⑥ 午後学力検査準備
7日（水）	一般選抜 生徒登校禁止（部活動なし）
8日（木）	生徒休業
9日（金）	生徒休業
10日（土）	スタディーサポート（1年） サタデーセミナー（2年） 土曜開放
12日（月）	生徒登校禁止（部活動なし）
13日（火）	合格者発表
14日（水）	短縮日課（45分授業）
16日（金）	合格体験発表会
19日（月）	生徒登校禁止（部活動なし） （定時制入試）
23日（金）	修業式・大掃除
26日（月）	新入生オリエンテーション